

JHL NEWS

No.11

2010年12月13日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同がプレーオフ切符獲得、湧永一紡織は引き分けに

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第10週～

第35回日本ハンドボールリーグ第10週は12月11、12日に男子のみ4試合が行われ、大崎電気が豊田合成を接戦で下して単独トップを守ったほか、大同特殊鋼が9勝目をマークして2枚目のプレーオフ切符を獲得、湧永製薬-トヨタ紡織九州は両者譲らず引き分け、トヨタ車体は5勝目をあげた。

岩手での大崎-合成戦は、合成の高い3:2:1ディフェンスに対し大崎が個人技で得点を決めて試合が始まった。序盤は互角の滑り出しから、東長濱の7mスローで攻撃のリズムをつかんだ大崎が前半11分7-3とリード。その後、合成も中島が連続してミドルシュートを決めて追撃、前半は大崎が16-14と2点リードで終えた。後半は合成の気迫あふれる攻撃で幕を開けた。今村のミドルシュート、大橋のサイドシュートが決まり17-17の同点に。一方の大崎も16分過ぎに宮崎が速攻を決めるなどして28-25と再びリード。宮崎はこの得点が日本リーグ通算600得点となり、会場は大いに沸いた。試合の流れを戻したい合成は、タイムアウト後から粘り強いディフェンスで相手のミス誘い、25分過ぎに33-34と1点差まで詰め寄った。しかし、ここから大崎はポストの森を起点としたコンビプレーで得点をあげ、追いつがる合成を37-35で振り切った。大崎は森の確実なシュート、合成は中島の力感あふれるシュートが光った。

広島での湧永-紡織は、プレーオフ争いにしのぎを削る両者の対戦とあって白熱した攻防が展開された。試合は、紡織のミス速攻につなげた湧永が前半1分過ぎから6点を連取して序盤の主導権を握った。しかし、紡織は湧永の足が止まったのを見て、プレス気味のディフェンスからボールを奪い、速攻でじわりじわりと追い上げ、16分過ぎには8-9と1点差まで肉薄した。その後は一進一退の展開が続くが、25分過ぎから紡織に退場者が相次いだことから湧永に流れが傾き、16-13と湧永3点のリードで前半を折り返した。後半はともに相手のミス速攻で得点する展開となり、新、山中、東長濱で加点した湧永が13分22-16と6点差をつけた。中盤は互いに得点を奪い合いながら時間が経過。23分過ぎまで25-20と5点リードをキープしていた湧永だったが、ここから紡織が猛反撃。27分過ぎに25-26と1点差まで迫ると、GK松村の好守で逃げ切りを図る湧永を激しく追い上げ、湧永に退場が出た終了間際に村上秀が同点のサイドシュートを決め、引き分けに持ち込んだ。

沖縄での琉球コラソン-大同戦は、琉球・村山の速攻、大同・岸川のカットインで幕を開けた。大同が野村、末松、武田のサイドシュートや速攻で得点を重ねたのに対し、琉球は高田、内山、村山の速攻やカットインで応戦、1点をめぐる攻防が続いた。前半21分10-8と大同2点リードの場面で琉球はタイムアウトを請求。このあと高めのアグレッシブなディフェンスで大同の攻撃を止めた琉球が、27分13-13の同点に追いついた。しかし、すぐに大同は山城のパスカットからの速攻で7mスローを奪い、これを末松がしっかりと決めて14-13と1点リードで前半を終了。後半に入ると大同が開始からの10分間で末松、武田らの4連打を含む8得点と一気のスパート、9分22-16と水をあげた。琉球も池田、村山の得点で食い下がるが、大同の勢いを食い止めることができず34-24でタイムアップ。大同が順当に勝利をものにした。(2ページに続く)



①単独トップを守った大崎電気・宮崎②湧永製薬を猛追して引き分けに持ち込んだトヨタ紡織九州・海道

第11週の日程

2月5日(土)	愛知	ブラザー工業体育館(地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	H C 名古屋 × 三重バイオレットアイリス
	広島	中区スポーツセンター(広島電線広電本社前駅徒歩3分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × 北国銀行
	鹿児島	霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	14:00~	(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × オムロン
2月6日(日)	大阪	大阪市立住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩7分)	14:00~	(男)	湧永製薬 × 大崎電気



トヨタ車体・藤田

トヨタ車体が5勝目マーク

福井での北陸電力-トヨタ車体戦は、序盤、体力に優る車体が手堅いディフェンスと門山のロングシュートなどで主導権を握り、落合のポストなどで反撃する北電を押しまくり、前半18分18-11と優位に立った。ここでタイムアウトを取った北電がディフェンスを5:1にシステムチェンジし、桜井のミドルシュート、高田のサイドシュートなどで追撃、11-15と4点差まで詰め寄って前半を終えた。後半立ち上がりは車体・門山、北電・神田らの得点で一進一退の攻防が続いたが、15分過ぎから車体が木切倉の7mスローなどで徐々に点差を広げ、終盤は光増のサイドシュート、銘苅のミドルシュートなどでさらに勢いを増し、32-19と力の差を見せつけた。

このあとリーグは全日本総合、女子アジア選手権、男子世界選手権など国内外の大会が続くため来春2月5、6日の第11週までプレイク期間に入る。なお1月21~23日まで福井で男子強化キャンプが行われる。

◆ 12月11日(土) 男子
岩手・岩手県営体育館

大崎電気	37 (16-14)	35	豊田合成
10勝0分1敗		21-21	1勝0分10敗
	K 浦 和		柳 原 0/2
	3/9 小 澤		原 0/0
	7/8 豊 田		野 田 3/7 1/1
1/2	1/6 東長濱		大 橋 8/11
	0/0 永 島		桶 谷 1/4
	1/2 横 地		中 島 10/22
<0/1>	K 東		森 光 0/0
	9/11 岩 森		加 藤 1/4
	1/1 岩 永		藤 田 <0/1>
	0/1 夏 山		今 村 7/10
	2/3 内 田		中 村 4/5
	1/1 猪 妻		仲 芳 0/0
	3/7 石 川		藤 堂 K <1/1>
	8/13 宮 崎		米 本 0/0

1/2 36/62 7(FPP)5 34/65 1/1
審判(多田・中館) 観客 1192人

◆ 12月11日(土) 男子
広島・中区スポーツセンター

湧永製菓	26 (16-13)	26	トヨタ紡織九州
7勝1分2敗		10-13	5勝2分3敗
<1/2>	K 志 水		松 野 K <0/3>
	2/3 谷 村		中 島 0/4
	1/3 木 村		西 端 1/1
	0/0 坂 本		上 田 0/0
2/2	1/1 山 中		松 信 0/0
	0/1 福 田		村上秀 2/4
	0/2 佐 藤		呉相民 6/11
	1/2 名 嘉		佐久間 0/0
	3/3 樋 口		海 道 4/6
	9/13 新		谷 川 K
	1/1 今 井		藤 本 0/0
<1/1>	K 松 村		鈴 木 7/8
	1/5 古 家		藤 山 3/8 1/3
	1/1 4/6 東長濱		石 黒 2/2

3/3 23/40 13(FPP)11 25/44 1/3
審判(家永・福島) 観客 642人

◆ 12月11日(土) 男子
沖縄・沖縄県立武道館

大同特殊鋼	32 (14-13)	24	琉球コラソン
9勝0分2敗		18-11	2勝1分8敗
0/1	1/1 棚 原		宮 城 0/0
1/1	1/2 野 村		久 高 1/1
1/1	7/12 末 松		村 山 6/14 1/1
	1/1 浦 田		兼 浜 0/0
	2/2 地 引		栗 崎 1/1
	8/11 武 田		池 田 4/5
	2/4 岸 川		志慶真 0/1
	K 高 木		内 田 K <1/2>
	1/2 千々波		名 嘉 2/4
	5/8 山 城		内 山 2/6
<0/1>	K 東		高 田 4/8
	0/0 熊 谷		石 田 K <0/1>
	0/0 松 永		水野紀 3/5
	2/3 渡久川		

2/3 30/46 6(FPP)9 23/45 1/1
審判(亀井・堀川) 観客 511人

◆ 12月12日(日) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

トヨタ車体	32 (15-11)	19	北陸電力
5勝1分5敗		17-8	1勝1分9敗
	2/3 石 戸		高 橋 3/5
	1/2 佐々木		神 田 2/7
	3/6 高 智		切 越 2/6
	4/4 藤 田		桜 井 5/11 1/2
1/1	0/1 木切倉		前 田 0/2
	2/2 富 田		高 田 3/4
	4/7 光 増		杉 山 0/0
	2/2 鶴 谷		落 合 3/6
<1/2>	K 坪 根		石 塚 0/0
	0/3 香 川		廣 瀬 K <0/2>
	2/5 崎 前		山 原 0/1
2/2	2/2 銘 苅		江 有 K <0/1>
	K 甲 斐		山 田 0/0
	7/8 門 山		

3/3 29/45 2(FPP)7 18/42 1/2
審判(寺内・細川) 観客 535人

第2回チャレンジ・ディビジョン

第2回チャレンジ・ディビジョンは12月11日に中部大学体育館で東地区・第3節の2試合が行われ、HC春日井とHC岐阜が勝利を握った。

HC岐阜はここまで2連勝の中部大学を相手に前半で4点リードを奪い、後半も手堅い攻守で優位をキープして2勝目をマーク。HC春日井-トヨタ自動車は、前半13-13のイーブンから春日井が後半一気のスパートで混戦を抜け出し、初勝利を飾った。

このあと東西両地区とも新年1月29日までにリーグ戦を行い、2月26、27日に順位決定戦を行う。

HC春日井	25 (13-13)	19	トヨタ自動車
	(12-6)		
HC岐阜	26 (13-9)	21	中部大学
	(13-12)		

東地区勝敗表

	岐阜	中部大	大同大	春日井	トヨタ	勝	分	敗	勝点	得失点差
① HC岐阜	※	26○21	26○22			2	0	0	4	9
② 中部大学	21●26	※		34○24	34○25	2	0	1	4	14
③ 大同大学	22●26		※	26○20		1	0	1	2	2
④ HC春日井		24●34	20●26	※	25○19	1	0	2	2	-10
⑤ トヨタ自動車		25●34		19●25	※	0	0	2	0	-15

西地区勝敗表

	Honda	山口	MKA	八光	徳山	勝	分	敗	勝点	得失点差
① Honda	※	29○24		34○27	28○21	3	0	0	6	19
② HC山口	24●29	※	37○27		34○26	2	0	1	4	13
③ HC・MKA		27●37	※	28○23	27●28	1	0	2	2	-6
④ 八光自動車	27●34		23●28	※	33○27	1	0	2	2	-6
⑤ 徳山クラブ	21●28	26●34	28○27	27●33	※	1	0	3	2	-20

男女個人ランキング 第10週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	70点	(11試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	86点	(10試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	67点	(11試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	85点	(10試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	65点	(10試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	65点	(10試合)
4 末松 誠 (大同特殊鋼)	63点	(11試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	61点	(10試合)
5 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	62点	(10試合)	5 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点	(10試合)
6 新建 二 (湧永製薬)	61点	(10試合)	6 高栖 由香 (ソニー)	45点	(10試合)
7 中島 晋太郎 (豊田合成)	60点	(11試合)	6 上町 史織 (北國銀行)	45点	(6試合)
8 武田 享 (大同特殊鋼)	59点	(11試合)	8 田中 美音子 (ソニー)	43点	(10試合)
9 東長濱 秀作 (湧永製薬)	57点	(10試合)	8 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点	(10試合)
9 東長濱 秀希 (大崎電気)	57点	(11試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	41点	(10試合)
11 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	56点	(10試合)	11 東濱 裕子 (オムロン)	39点	(10試合)
11 野田 祐希 (豊田合成)	56点	(11試合)	12 高田 裕梨 (オムロン)	38点	(10試合)
13 門山 哲也 (トヨタ車体)	54点	(10試合)	12 張 素姫 (ソニー)	38点	(10試合)
14 村山 裕次 (琉球コラソン)	53点	(11試合)	12 長野 かづさ (ソニー)	38点	(10試合)
15 小澤 広太 (大崎電気)	51点	(11試合)	15 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	37点	(10試合)
15 落合 信也 (北陸電力)	51点	(11試合)			
15 高田 匠 (琉球コラソン)	51点	(10試合)			

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	70点	(11試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	64点	(10試合)
2 今村 彰伸 (豊田合成)	67点	(11試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	56点	(10試合)
3 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	61点	(10試合)	3 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点	(10試合)
4 新建 二 (湧永製薬)	60点	(10試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	46点	(10試合)
4 中島 晋太郎 (豊田合成)	60点	(11試合)	5 高栖 由香 (ソニー)	44点	(10試合)
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	59点	(11試合)	6 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点	(10試合)
6 武田 享 (大同特殊鋼)	59点	(11試合)	7 高橋 恵 (ソニー)	42点	(10試合)
8 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	56点	(10試合)	7 田中 美音子 (ソニー)	42点	(10試合)
9 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	55点	(10試合)	9 横嶋 かおる (北國銀行)	41点	(10試合)
10 門山 哲也 (トヨタ車体)	54点	(10試合)	10 東濱 裕子 (オムロン)	39点	(10試合)
11 小澤 広太 (大崎電気)	51点	(11試合)	10 高田 裕梨 (オムロン)	38点	(10試合)
11 落合 信也 (北陸電力)	51点	(11試合)	11 長野 かづさ (ソニー)	38点	(10試合)
11 東長濱 秀作 (湧永製薬)	51点	(10試合)	13 張 素姫 (ソニー)	37点	(10試合)
11 高田 匠 (琉球コラソン)	51点	(10試合)	14 城内 真紀 (オムロン)	34点	(10試合)
15 森 淳 (大崎電気)	49点	(11試合)	15 土屋 友美 (メイプルレッズ)	33点	(10試合)
			15 若松 里佳 (北國銀行)	33点	(10試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 新建 二 (湧永製薬)	60点/84射 0.714	1 高栖 由香 (ソニー)	44点/55射 0.800
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	56点/85射 0.659	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	46点/62射 0.742
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	70点/119射 0.588	3 高橋 恵 (ソニー)	42点/61射 0.689
4 門山 哲也 (トヨタ車体)	54点/92射 0.587	4 横嶋 かおる (北國銀行)	41点/67射 0.612
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	55点/95射 0.579	5 田中 美音子 (ソニー)	42点/76射 0.553
6 今村 彰伸 (豊田合成)	67点/116射 0.578	6 藤井 紫緒 (オムロン)	46点/98射 0.469
7 末松 誠 (大同特殊鋼)	59点/105射 0.562	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	64点/141射 0.454
8 武田 享 (大同特殊鋼)	59点/107射 0.551	8 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	56点/125射 0.448
9 中島 晋太郎 (豊田合成)	60点/116射 0.517	9 呉 成玉 (メイプルレッズ)	43点/98射 0.439
10 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	61点/121射 0.504	10 東濱 裕子 (オムロン)	39点/96射 0.406

7mスロー得点

1 野田 祐希 (豊田合成)	17点	(11試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	29点	(10試合)
2 桜井 渉 (北陸電力)	16点	(11試合)	2 高橋 恵 (ソニー)	23点	(10試合)
3 東長濱 秀希 (大崎電気)	15点	(11試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	22点	(10試合)
4 村山 裕次 (琉球コラソン)	14点	(11試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	18点	(6試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	10点	(10試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	15点	(10試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気)	5本/12射 0.417	1 藤間 かおり (オムロン)	12本/29射 0.414
2 内田 武志 (琉球コラソン)	6本/15射 0.400	2 中島 亜樹 (ソニー)	12本/31射 0.387
3 志水 孝行 (湧永製薬)	4本/12射 0.333	3 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	6本/19射 0.316
4 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	4本/14射 0.286	4 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	5本/17射 0.294
5 藤堂 聖二 (豊田合成)	3本/13射 0.231	5 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	7本/25射 0.280
5 石田 孝一 (琉球コラソン)	3本/13射 0.231		

第 35 回 日本ハンドボールリーグ成績表 第10週終了 12月12日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	北陸電力	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	11	10	0	1	20	391	330	61
2	大同特殊鋼	●	○	○	○	○	○	○	○	11	9	0	2	18	306	276	30
3	湧永製薬	●	●	○	△	○	○	○	○	10	7	1	2	15	287	238	49
4	トヨタ紡織九州	●	●	△	△	○	○	○	○	10	5	2	3	12	319	291	28
5	トヨタ車体	●	○	●	●	△	○	○	○	11	5	1	5	11	325	300	25
6	琉球コラソン	●	●	●	●	●	●	△	○	11	2	1	8	5	272	344	-72
7	北陸電力	●	●	●	●	●	△	○	●	11	1	1	9	3	259	329	-70
8	豊田合成	●	●	●	●	●	●	●	○	11	1	0	10	2	310	361	-51

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	オムロン	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行	○	○	○	○	○	○	10	8	0	2	16	255	208	47
2	ソニーセミコンダクタ九州	●	○	●	△	○	○	10	7	1	2	15	302	236	66
3	オムロン	●	○	○	△	●	○	10	6	1	3	13	266	195	71
4	広島メイプルレッズ	●	●	△	△	○	○	10	5	2	3	12	295	238	57
5	三重バイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	10	1	0	9	2	227	311	-84
6	H C 名古屋	●	●	●	●	●	○	10	1	0	9	2	166	323	-157

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。